



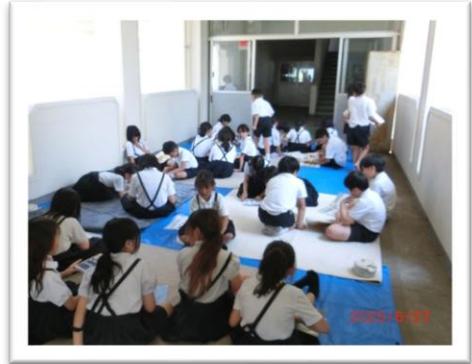
五福っ子



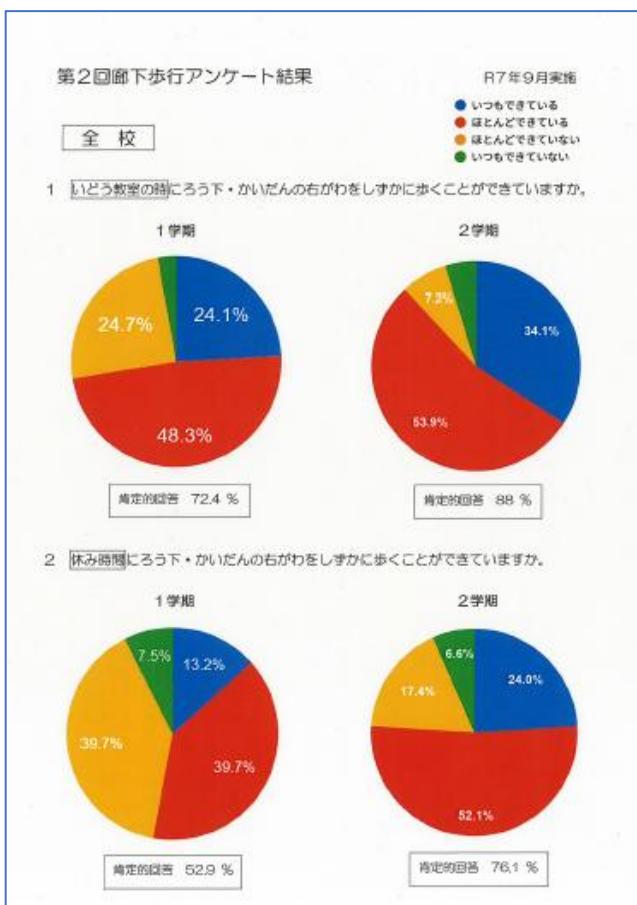
令和7年9月26日発行 No.14

落ち着いた校内 安全な暮らし

学校だよりの第7号で、今年は廊下歩行に重点を置いた指導をしている、ということをお知らせしました。子どもたちが自作のポスターで呼びかけ、その思いを学校全体でしっかりと受け止めている様子も、第8号でお伝えしたところです。児童の自主的な取り組みのほかにも、夏休み中に職員作業で、南棟の廊下・階段にセンターラインを引いて右側を意識しやすくしました。あまりの暑さに、テープがはがれてしまうというハプニングがありましたが、教頭や生活指導担当が補修をしながら、安全な暮らしができるように見守っています。



2学期になり、子どもたちに廊下歩行アンケートを行いました。その結果が左下のグラフです。



上は、移動教室の時、つまり、学級で並んで廊下を歩くときに「右側を」「静かに」歩くことができているのかを尋ねたグラフです。1学期と比べると、「いつもできている」「ほとんどできている」という肯定的な回答が15%以上増えています。学級全員で、意識を高めていることが分かりました。

下は、休み時間、つまり、自分自身で廊下を歩くときに、「右側を」「静かに」歩くことができているのかを尋ねました。こちらも、肯定的な回答が全体の88%と、23%以上増えました。

廊下の右側を静かに歩こうと気を付ける子どもたちが増えたからなのか、廊下で転ぶ子どもや擦り傷で保健室を訪れる子どもは減ったように思います。一人一人の心掛けが、安全で落ち着いた学校生活につながっています。登下校時の歩き方にも広がってくれることを願っています。